

## 正しい税金の使い方

八代市立第一中学校 3 年 中山 佳穂

最近私は、生徒会役員として市が行っている中学生議会に参加する機会がありました。参加する前は、議会ときくと難しくて大人の世界だと思っていたけれど、実際に自分が発言したり議員の方からの答弁を聞いたりして私たちの暮らしには税金が深く関わっていることを改めて感じました。中でも印象に残っているのは、議員の方々が慎重に、真剣に議会に参加されている姿です。

今、日本では物価の上昇が続いています。私自身も買い物に行ったとき物の値段が前に比べて高くなっていることや、内容量が減ったと感じたことがあります。ニュースなどでも物価高についての話題をたくさん目にしますが物価高が学校生活にも影響を与えているというニュースを見たとき驚きました。最近の給食では、前までは当たり前に出ていたメニューがなくなったり、品数が減るなどの問題があると知りました。物価高は様々なことに影響を与える大きな問題であるとその時感じました。

私が参加した市議会では、給食に関する議論は出ませんでした。が、「新しい事業にかかる費用について」「新たに街灯を設置すること」など町の安全や暮らしに関わる議論が多くありました。私は、これらの事業を実行に移すのが難しい理由のなかに物価の上昇が関係しているのではないかと考えました。市民からの要望があったから実行に移そうと簡単に決まるのではなく、他の分野とのバランスや市の全体の財政を考えながら慎重に話し合いを重ねた結果やっと実行に移されるのだと議会に参加して気づくことができました。

私はこの経験を通して、税金に関する考え方が変わりました。学校で当たり前に使っている教科書やプリント、実験器具などの多くが税金で賄われています。税金がなければ今のように学ぶことも、安全な校舎で過ごすこともできないのかもしれませんが、しかし、物価が上昇する今、限られた税金の中で子供の教育や生活を守っていくことは難しい問題だと感じました。また、私たちも税金について自分には関係ないと思うのではなく、関心を持つことが大切です。今回市議会に参加したことで、私は初めて税金の使い道は何度も話し合いを重ねたうえで決まることを知りました。将来大人になって税金を納める立場になった時、その使い道にも目を向け無関心にならないようにしたいと思います。

税金は私たちの生活に深く関わっているものです。物価が上昇する今だからこそ、その大切なお金が本当に必要な場所に届くよう大人だけでなく子供も一緒に考えていくことが大切だと私は思います。